

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和6年11月26日(火)午後7時00分～午後8時00分
地 区	梅が枝地区
場 所	梅が枝第一集会所
参加人数	43人

テーマ1 防災について

主 旨

- 災害時の備えについては、自助を中心に、住民同士や地域内の共助、そこで対応できない部分は公助と考えている。
- 府営住宅の建物は耐震性があるものと思っているが、もしもの時に備えて個人、地域での備えをしておくことが重要と思っている。については、市の防災に対する考え方を教えていただきたい。

市 長

- 梅が枝地域は立地的にも建物の耐震性においても、安全な地域であると思っている。
- 災害時の避難所はみらい小学校である。みらい小は年度末に閉校するが、建物は残るため、避難所が無くなるわけではない。建物自体は、今後一部取り壊し、防災公園の整備等を予定している。避難所は市でしっかり確保していく。
- 現在、市の事業として、体育館のエアコン設置やトイレトラックの購入などを実施している。災害時の市民の安心・安全について責任をもって対応していく。

意 見

- 天野川について、川の中に朽ちた木が入っている。大雨で川が増水した時の倒木が不安である。個人的に枚方土木事務所にお願いしているが、なかなか対応してもらえない。市からも、木の伐採等について要望してもらえないか。
→[市長]市内では天野川と、前川の一部は枚方土木が管理している。市が要望しても簡単には動いてもらえない現状はあるが、府(枚方土木)に対しては根気強く求めていきたいと思ってるので、ご理解いただきたい。

テーマ2 都市計画について

主 旨

- 公共交通(京阪バスの撤退・おりひめバス等)についてお聞かせいただきたい。

市 長

- 今年の9月からおりひめバスをスタートした。これは福祉バスではなく、コミュニティバスである。コミュニティバスは運賃を支払えば誰でも乗車できるものである。運転手の確保が問題であり、市内事業

者では対応不可のため、日本タクシーから運転手を確保して実施している。

- 運賃は現金であれば 300 円(市発行の補助券は 230 円)で設定している。その理由は、京阪バスの運賃が 230 円で、それ以下の運賃設定は不可であり、金銭のやり取りを簡潔に、お釣りが出ないようになしたいためである。
- ルートについても京阪バスの路線と重複しないように、梅が枝、松塚、郡津、幾野の 4 地区を対象にしている。そのため、現在は河内磐船駅までは行かず、交野市駅止まりである。
- おりひめバスは 9 人乗りだが、現在、乗車数は平均 1 人という状況である。
- このたび、京阪バスが令和 7 年 3 月 22 日付けで撤退する報告を受けた。京阪バスが撤退する路線は、市が代替して運用していく。
- 今後は京阪バスへの配慮が不要となることから、ルートは交野市駅から河内磐船駅まで延伸し、利便性の向上により乗車数を上げていきたいと思っている。河内磐船駅まで乗車できると、関西スーパー やゆうゆうセンターへの利用も可能となる。また、運賃についても、今後は 200 円で設定したいと考えている。

意 見

- おりひめバスの乗車数の少なさは「行きたいところに行けないから」が理由であると思っている。市としても分析してもらいたい。
→[市長]まず、皆さんの行きたい場所等の要望すべてに応えることはできないことはご理解いただきたい。通勤・通学の利用者のことを考えると、本市はタクシーではなくバスである。
これまでの市発行の補助券は、70 歳以上を対象に、230 円×20 枚を 200 円×23 枚にして運用していきたいと思っている。
- 北陸新幹線の諸課題について、市広報紙や市長の記者会見等で状況を知った次第である。市内を通過する場所や地下水の懸念など、どこまで市長に話がきているのか。市民まで話がなかなか下りてこないと感じているので、教えてもらいたい。
→[市長]
 - ・ 北陸新幹線のルートは、政府与党の国会議員で構成されるプロジェクトチームで決定しており、鉄道運輸機構(以下「機構」と記載)が線路をつくり、JR が鉄道を利用する形態となっている。
 - ・ 今回、機構から市に、市有地を貸してほしいと申出があった。岐阜県内のリニア新幹線工事現場で、地下水位の低下又は枯れるという事故があった。それをニュースで知り、機構側と協議したところ、機構から交野市の地下水調査を実施しないことの言及があり、今回の一連の流れになった次第である。
 - ・ 市内の地下を通過とは聞いていたが、今夏にその詳細ルート案が示された。あくまで案ではあるが、おおよその通過ルートは第二京阪国道より北側部分であり、市役所の真下を通過する。梅が枝地区の真下を通過する訳ではないが、私部西など近隣は通過する。
 - ・ この 12 月にルート案を公表予定とあり、本当に公表されるかは未定である。機構側には勝手に決定しないよう要求しており、その決定前に本市地下水に影響がないかの調査を実施してもらいたいとお願いしているところである。機構だけではなく、ルート決定権のある国プロジェクトチー

ムにも意向は伝えたいと思っている。

- 本市は地下水を水道水として利用しており、市民生活に直結する話だと思っている。本市と北河内周辺都市では状況が異なるものと考えている。

- イズミヤ跡地はどうなるのか教えてもらいたい。

→[市長]あの土地は地主が事業者(不動産屋・ディベロッパー)に土地を貸していて、その事業者が別の利用事業者(イズミヤ・過去はニチイなど)に貸出して、運用を行っている構造になっている。建物を取り壊す話にはなっておらず、市や府にはあの建物を利用したいとの相談は受けているが、賃料等の条件面で話がまとまっていない状況である。

テーマ3 老人対策について

主旨

- 梅が枝では高齢者が多く、それに付随して様々な問題がある。その中で、民生委員の役割は大きく、傍から見ていて申し訳ないほど大変であると感じている。
- 住民800人で民生委員は4名であり、民生委員のなり手不足や待遇面での改善等を図ってもらいたいと思っているが、市の考えはどうか。

市長

- 市としても、民生委員が無報酬であるところは憂慮しており、また、なり手不足の相談も受けており状況は把握しているところである。
- 無報酬ではあるが、活動費は国・府・市から支給しており、なり手不足の解消については年齢制限の緩和に取り組んでいきたいと思っている。
- 待遇面は市だけでは決めることができないため、府や国に対して協議をする等、民生委員が活動しやすい環境整備を図っていきたいと考えている。

意見

(市長から補足として以下説明)

- 国民健康保険と介護保険について、補足として説明させていただきたい。
- 国保保険料は、これまで市のお金を活用しながら低い水準を保ってきていたが、府が保険料を府内で統一するということで、本市も保険料が上がることになった。市として抗議はしたが、保険料の統一が覆ることはなく、市民の皆様には申し訳なく思っている。
- 一方で、介護保険料については、府の平均保険料は9,000円であるのに対し、本市は5,000円代であり、府内33市で一番低い水準にある。
- 国保、介護保険の保険料は、市民に一定の負担があり、市民生活に影響があるものと受け止めているので、介護保険については住民負担が軽くなるよう努めていくのでご理解いただきたい。

以上